

東京都立小石川中等教育学校 年間授業計画

教科:(国語)科目:(現代文B)対象:(第6学年A~D組)単位数:(2単位)

使用教科書:「精選現代文B」(筑摩書房)

使用教材:「現代文キーワード読解」(増進会出版社)、「入試に出る漢字と語彙2400」(旺文社)、「国語便覧」(浜島書店)、「センター試験国語過去問題集」(尚文出版)

	指導内容 【年間授業計画】	科目の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
4 月	評論 「身体、この遠きもの」 鷲田清一 「近代の成立——遠近法」 橋爪大三郎	<ul style="list-style-type: none"> ・論理的な文章について、論理の展開や要旨を的確にとらえ、理解する。 ・「身体」と「心」「私」の関係についての筆者の考えを理解する。 ・「遠近法」の発明が持つ意味についての筆者の考えを理解する。 ・複数の筆者の考えを比較、理解することを通じ、「近代」のもつさまざまな性格について考える。 ・新たな視点を開く文章を読むことにより、常識にとらわれず物事の真実をとらえる姿勢を養う。 	行動の観察 (学習活動への参加姿勢や発言内容・態度) 記述の確認 (ノート・プリント類への記述) 小テスト 定期考査	6
5 月	評論 「日本文化私観」 坂口安吾 「陰影礼賛」 谷崎潤一郎 「ことばへの問い」 熊野純彦	<ul style="list-style-type: none"> ・論理的な文章について、論理の展開や要旨を的確にとらえる。 ・複数の筆者の考えを比較、理解することを通じ、(日本)文化に対して考える。 ・「ことばにならない」思いを、人はすくいとることができるだろうかという筆者の問いについて考える。 ・新たな視点を開く文章を読むことにより、常識にとらわれず物事の真実をとらえる姿勢を養う。 	行動の観察 (学習活動への参加姿勢や発言内容・態度) 記述の確認 (ノート・プリント類への記述) 小テスト 定期考査	8

東京都立小石川中等教育学校 年間授業計画

教科:(国語) 科目:(現代文B) 対象:(第6学年A~D組) 単位数:(2単位)

使用教科書:「精選現代文B」(筑摩書房)

使用教材:「現代文キーワード読解」(増進会出版社)、「入試に出る漢字と語彙2400」(旺文社)、「国語便覧」(浜島書店)、「センター試験国語過去問題集」(尚文出版)

	指導内容 【年間授業計画】	科目の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
6 月	小説 「急須」南木佳士 評論 「無常ということ」小林秀雄	<ul style="list-style-type: none"> ・文学的な文章について、人物、情景、心情などを的確にとらえ、表現を味わう。 ・印象的な表現や心情を中心に、人間と社会の深い関わり合いの錯綜を読み解き、人生について深く考える態度を身につける。 ・自身の存在を超えた大きな時の流れについての筆者の考えを理解し、古典という存在について考えを深める。 ・論理的に自己の考えを述べ、他者に伝える能力を向上させる。 	行動の観察 (学習活動への参加姿勢や発言内容・態度) 記述の確認 (ノート・プリント類への記述) 小テスト 定期考査	8
7 月	評論 「ものごと」木村敏 「貨幣共同体」岩井克人	<ul style="list-style-type: none"> ・論理的な文章について、論理の展開や要旨を的確にとらえる。 ・「もの」と「こと」という、世界の捉え方の違いに対する筆者の考えを理解する。 ・貨幣を中心に社会の根源を捉える筆者の考えを理解する。 ・複数の筆者の考えを比較、理解することを通じ、世界を支える原理に対して考える。 ・新たな視点を開く文章を読むことにより、常識にとらわれず物事の真実をとらえる姿勢を養う。 ・論理的に自己の考えを述べ、他者に伝える能力を向上させる。 	行動の観察 (学習活動への参加姿勢や発言内容・態度) 記述の確認 (ノート・プリント類への記述) 小テスト 定期考査	6

東京都立小石川中等教育学校 年間授業計画

教科:(国語) 科目: (現代文B) 対象:(第6学年A～D組) 単位数:(2単位)

使用教科書:「精選現代文B」(筑摩書房)

使用教材:「現代文キーワード読解」(増進会出版社)、「入試に出る漢字と語彙2400」(旺文社)、「国語便覧」(浜島書店)、「センター試験国語過去問題集」(尚文出版)

指導内容 【年間授業計画】	科目の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
<p style="text-align: center;">8 ・ 9 月</p> <p>詩歌 「サーカス」 中原中也 他</p> <p>評論 「寛容は自らを守るために不寛容に対して不寛容であるべきか」 渡辺一夫</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・韻文について関心を持ち、それぞれの表現に注意し、情景や心情について想像力を働かせながら読み味わう。 ・論理的な文章について、論理の展開や要旨を的確にとらえる。 ・対立する存在を「敵」「悪」と捉える言説に対し「寛容」を説く筆者の考えを理解する。 ・新たな視点を開く文章を読むことにより、常識にとらわれず物事の真実をとらえる姿勢を養う。 ・論理的に自己の考えを述べ、他者に伝える能力を向上させる。 	<p>行動の観察 (学習活動への参加姿勢や発言内容・態度) 記述の確認 (ノート・プリント類への記述) 小テスト 定期考査</p>	8
<p style="text-align: center;">10 月</p> <p>評論 「リスク社会とその希望」 大澤真幸</p> <p>共通テスト演習</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・論理的な文章について、論理の展開や要旨を的確にとらえる。 ・個人が想像し、理解できる範囲をはるかに超える現代のリスク社会に対する筆者の問題提起を理解する。 ・新たな視点を開く文章を読むことにより、常識にとらわれず物事の真実をとらえる姿勢を養う。 ・問題文や選択肢を正確に読み、解答できる力を養う。 	<p>行動の観察 (学習活動への参加姿勢や発言内容・態度) 記述の確認 (ノート・プリント類への記述) 小テスト 定期考査</p>	8

東京都立小石川中等教育学校 年間授業計画

教科:(国語) 科目: (現代文B) 対象:(第6学年A～D組) 単位数:(2単位)

使用教科書:「精選現代文B」(筑摩書房)

使用教材:「現代文キーワード読解」(増進会出版社)、「入試に出る漢字と語彙2400」(旺文社)、「国語便覧」(浜島書店)、「センター試験国語過去問題集」(尚文出版)

	指導内容 【年間授業計画】	科目の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
11 月	共通テスト演習	・問題文や選択肢を正確に読み、解答できる力を養う。	行動の観察 (学習活動への参加姿勢や発言内容・態度) 記述の確認 (ノート・プリント類への記述) 小テスト 定期考査	8
12 月	共通テスト演習	・問題文や選択肢を正確に読み、解答できる力を養う。	行動の観察 (学習活動への参加姿勢や発言内容・態度) 記述の確認 (ノート・プリント類への記述) 小テスト 定期考査	8

東京都立小石川中等教育学校 年間授業計画

教科:(国語)科目:(現代文B) 対象:(第6学年A～D組) 単位数:(2単位)

使用教科書:「精選現代文B」(筑摩書房)

使用教材:「現代文キーワード読解」(増進会出版社)、「入試に出る漢字と語彙2400」(旺文社)、「国語便覧」(浜島書店)、「センター試験国語過去問題集」(尚文出版)

	指導内容 【年間授業計画】	科目の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
1 月	共通テスト演習	・問題文や選択肢を正確に読み、解答できる力を養う。	行動の観察 (学習活動への参加姿勢や発言内容・態度) 記述の確認 (ノート・プリント類への記述) 小テスト 定期考査	6
2 月	個別受験指導	・出題に応じて適切に解答する力を伸ばす。	行動の観察 (学習活動への参加姿勢や発言内容・態度) 記述の確認 (ノート・プリント類への記述) 小テスト 定期考査	6
3 月	個別受験指導	・出題に応じて適切に解答する力を伸ばす。	行動の観察 (学習活動への参加姿勢や発言内容・態度) 記述の確認 (ノート・プリント類への記述) 小テスト 定期考査	6

東京都立小石川中等教育学校

【政治経済】

年間授業計画

教科:(公民)科目:(政治経済)対象:(第6学年A、B、C、D組)

教科担当者:() 単位数:(2 単位)

使用教科書:「高等学校 改訂版 政治経済」(第一学習社)

使用教材:「最新政治経済資料集」(第一学習社)

	指導内容 【年間授業計画】	科目の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
4月	民主政治の基本原則	○政治と法の機能 ○民主政治の歩み ○世界の政治体制の比較 各項目について理解を深める	知識 思考力 発問	6
5月	日本国憲法と基本的人権	○日本国憲法の基本原則 ○基本的人権の規定・新しい人権と人権をめぐる主要な判例 ○日本国憲法の平和主義 各項目について理解を深める	知識 思考力 発問 中間テスト	8
6月	日本の政治機構	○国会の組織と立法、内閣と行政機構、裁判所の機能と司法制度 ○地方自治制度と住民の権利 ○選挙制度の仕組みと課題 各項目について理解を深める	知識 思考力 発問	8
7月	国際政治の動向	○国際社会と国際法 ○国際連合の組織・役割と課題 各項目について理解を深める	知識 思考力 発問 期末テスト	6

東京都立小石川中等教育学校

【政治経済】

年間授業計画

教科:(公民)科目:(政治経済)対象:(第6学年A、B、C、D組)

教科担当者:()単位数:(2 単位)

使用教科書:「高等学校 改訂版 政治経済」(第一学習社)

使用教材:「最新政治経済資料集」(第一学習社)

	指導内容 【年間授業計画】	科目の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
8・9月	国際政治の動向 経済社会の発展	○戦後国際政治の展開 ○国際政治分野の課題 ○資本主義経済の発展と課題 各項目について理解を深める	知識 思考力 発問	8
10月	現代経済の仕組み	○市場経済の機能と限界 ○財政・金融の仕組みと働き ○日本経済の現状と課題 各項目について理解を深める	知識 思考力 発問 中間テスト	8
11月	国際経済の仕組み	○貿易と国際収支 ○為替相場の仕組み・変動要因とその影響 ○戦後国際経済の動向 各項目について理解を深める	知識 思考力 発問	8
12月	国際経済の課題	○発展途上国の経済と経済協力 ○国際経済における日本の役割 各項目について理解を深める	知識 思考力 発問 期末テスト	6

東京都立小石川中等教育学校

【政治経済】

年間授業計画

教科:(公民)科目:(政治経済) 対象:(第6学年A、B、C、D組)

教科担当者:() 単位数:(2 単位)

使用教科書:「高等学校 改訂版 政治経済」(第一学習社)

使用教材:「最新政治経済資料集」(第一学習社)

	指導内容 【年間授業計画】	科目の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
1 月	個別受験指導	大学入学共通テスト・私立大学受験者に対して、個別指導で問題演習・解説などを行う。		6
2 月	個別受験指導	私立大学受験者・国立大学2次受験者に対して、個別指導で問題演習・解説などを行う。		8
3 月	個別受験指導	私立大学受験者・国立大学2次受験者に対して、個別指導で問題演習・解説などを行う。		6

週ごとの指導計画(予定表)【様式1】

1年間の計画を確認した後押印

教科:(保健体育)科目:(体育) 対象:(第6学年A~D組)

教科	教務	副校長	校長

教科担当者:(浅川、倉橋、氏田、万田、若井、田島、) 単位数:(2 単位)

指導内容 【年間授業計画】	科目の具体的な指導目標 【年間授業計画】	使用教材・教具	予定週				授業において把握 した目標到達度 <small> 考査等の結果や学力調査結果 から把握した目標到達度 </small>
			A組	B組	C組	D組	
4月 選択授業 ・バレーボール ・ソフトボール ・硬式テニス	・各選択種目で身につけた知識と個人技能を関連させて、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができる。また、ゲームの中で、仲間と適切な関係を築くことができる。グループの課題解決についての話し合いでは、自らの意思を伝えたり、仲間の意見を聞き入れ、チームの意思決定に参画することができる。 バレーボール：仲間と連携した「拾う・つなぐ、打つ」などの一連の流れで攻撃を組み立てることができる。 ソフトボール：状況に応じたバッド操作と走塁での攻撃、安定したボール操作と状況に応じた守備を行うことができる。 テニス：安定した用具操作を行い、相手の打ちにくいところをねらい、攻撃を行うことができる。	ボール ネット支柱 ベース バット グローブ ラケット 得点板 タイマー 現代高等保健体育	3	3	3	3	
5月 選択授業 ・バレーボール ・ソフトボール ・硬式テニス	・各選択種目で身につけた知識と個人技能を関連させて、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができる。また、ゲームの中で、仲間と適切な関係を築くことができる。グループの課題解決についての話し合いでは、自らの意思を伝えたり、仲間の意見を聞き入れ、チームの意思決定に参画することができる。 バレーボール：仲間と連携した「拾う・つなぐ、打つ」などの一連の流れで攻撃を組み立てることができる。 ソフトボール：状況に応じたバッド操作と走塁での攻撃、安定したボール操作と状況に応じた守備を行うことができる。 テニス：安定した用具操作を行い、相手の打ちにくいところをねらい、攻撃を行うことができる。	ボール ネット支柱 ベース バット グローブ ラケット 得点板 タイマー 現代高等保健体育	4	4	4	4	
6月 選択授業 ・バレーボール ・ソフトボール ・硬式テニス ・新体力テスト	・各選択種目で身につけた知識や技能をふまえ、チームで作戦をたてゲームにいかすことができる。また、ゲームにおいて、チーム内での自己の役割を考え、主体的に取り組むことができる。 バレーボール：仲間と連携した効果的な攻防を展開するためにゲーム中に果たすべき役割に応じて、ボールを一連の動きで操作したり、味方や相手の側のコートへのねらった場所にボールを返すことができる。 ソフトボール：攻撃では守備の状況に応じてヒットのしやすい場所にねらって打つ。守備では、相手チームの特徴などに応じた守備位置に立つなどの連携を行い、失点を最小限にとどめるための攻防を行う。 テニス：相手の返球や守備位置などの状況に応じたボール操作、安定した用具の操作によって、相手の陣地に空間を作り出すために、ボールをつないだり、打ち返すことができる。 新体力テスト ・昨年の自己の記録を超えることを目指す。	ボール ネット支柱 ベース バット グローブ ラケット 得点板 タイマー 現代高等保健体育	4	4	4	4	
7月 水泳 ・バタフライ 選択授業 ・バレーボール ・ソフトボール ・硬式テニス	・安全に留意し、運動することができる。 ・プルとキックのタイミングに合わせて呼吸1回ごとに大きな伸びのある泳ぎをすることができる。 ・各選択種目で身につけた知識や技能をふまえ、チームで作戦をたてゲームにいかすことができる。また、ゲームにおいて、チーム内での自己の役割を考え、主体的に取り組むことができる。 バレーボール：仲間と連携した効果的な攻防を展開するためにゲーム中に果たすべき役割に応じて、ボールを一連の動きで操作したり、味方や相手の側のコートへのねらった場所にボールを返すことができる。 ソフトボール：攻撃では守備の状況に応じてヒットのしやすい場所にねらって打つ。守備では、相手チームの特徴などに応じた守備位置に立つなどの連携を行い、失点を最小限にとどめるための攻防を行う。 テニス：相手の返球や守備位置などの状況に応じ	ビート版 ボール ネット支柱 ベース バット グローブ ラケット 得点板 タイマー 現代高等保健体育	3	3	3	3	

週ごとの指導計画(予定表)【様式1】

1年間の計画を確認した後押印

教科:(保健体育)科目:(**体育**) 対象:(第6学年A~D組)

教科	教務	副校長	校長

教科担当者:(浅川、倉橋、氏田、万田、若井、田島、) 単位数:(2 単位)

指導内容 【年間授業計画】	科目の具体的な指導目標 【年間授業計画】	使用教材・教具	予定週				授業において把握した目標到達度 考査等の結果や学力調査結果から把握した目標到達度
			A組	B組	C組	D組	
9月 水泳 ・バタフライ 選択授業 ・バスケットボール ・サッカー ・硬式テニス ・卓球	・安全に留意し、運動することができる。 ・プルとキックのタイミングに合わせて呼吸1回ごとに大きな伸びのある泳ぎをすることができる。 ・各選択種目で身につけた知識や技能をふまえ、チームで作戦をたてゲームにいかすことができる。また、ゲームにおいて、チーム内での自己の役割を考え、主体的に取り組むことができる。 バスケットボール：ドリブルやパスなどを正確に行い、相手から奪われずボールキープしたり、味方が操作しやすいパスを送ることができる。 ソフトボール：攻撃では守備の状況に応じてヒットのでやすい場所にねらって打つ。守備では、相手チームの特徴などに応じた守備位置に立つなどの連携を行い、失点を最小限にとどめるための攻防を行う。 サッカー：ドリブルやパスなどを正確に行い、相手から奪われずボールキープしたり、味方が操作しやすいパスを送ることができる。 テニス・卓球：相手の返球や守備位置などの状況に応じたボール操作、安定した用具の操作によって、相手の陣地に空間を作り出すために、ボールをつないだり、打ち返すことができる。	ビート版 ボール ネット支柱 ベース バット グローブ ラケット 得点板 タイマー 現代高等保健体育	5	5	5	5	
10月 選択授業 ・バスケットボール ・サッカー ・硬式テニス ・卓球	・各選択種目で計画をたて、リーダーを中心に知識や個人技能を高め、運動の楽しさや喜びを味わうことができる。 バスケットボール：ドリブルやパスなどを正確に行い、相手から奪われずボールキープしたり、味方が操作しやすいパスを送ることができる。 サッカー：ドリブルやパスなどを正確に行い、相手から奪われずボールキープしたり、味方が操作しやすいパスを送ることができる。 テニス・卓球：相手の打ちやすい場所に返球、確実なサービスを行うことができる。	ボール ゴール ラケット 得点板 タイマー 現代高等保健体育	4	4	4	4	
11月 選択授業 ・バスケットボール ・サッカー ・硬式テニス ・卓球	・各選択種目で身につけた知識や・個人技能を関連させて、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができる。また、ゲームの中で、仲間と適切な関係を築くことができる。グループの課題解決についての話し合いでは、自らの意思を伝えたり、仲間の意見を聞き入れ、チームの意思決定に参画することができる。 バスケットボール：仲間と連携してゴール前の空間を作り出し、ゴールにコントロールシュートを入れる。 サッカー：仲間と連携してゴール前の空間を作り出し、ゴールにコントロールシュートを入れる。 テニス・卓球：相手の返球や守備位置などの状況に応じたボール操作、安定した用具の操作によって、相手の陣地に空間を作り出すために、ボールをつないだり、打ち返すことができる。	ボール ゴール ラケット 得点板 タイマー 現代高等保健体育	4	4	4	4	
12月 選択授業 ・バスケットボール ・サッカー ・硬式テニス ・卓球	・各選択種目で身につけた知識や技能をふまえ、チームで作戦をたてゲームにいかすことができる。また、ゲームにおいて、チーム内での自己の役割を考え、主体的に取り組むことができる。 バスケットボール：仲間と連携した動きによって自陣から相手ゴール前へと侵入するなどの攻撃や、その動きに対応して空間を埋めるなどの防御の動きで攻防を展開することができる。 サッカー：仲間と連携した動きによって自陣から相手ゴール前へと侵入するなどの攻撃や、その動きに対応して空間を埋めるなどの防御の動きで攻防を展開することができる。 テニス・卓球：相手の返球や守備位置などの状況に応じたボール操作、安定した用具の操作によって、相手の陣地に空間を作り出すために、ボールをつないだり、打ち返すことができる。	ボール ゴール ラケット 得点板 タイマー 現代高等保健体育	3	3	3	3	
1月 個別受験指導	・論文、実技等の指導を個別で行う。	現代高等保健体育	3	3	3	3	
2月 個別受験指導	・論文、実技等の指導を個別で行う。	現代高等保健体育	3	3	3	3	
3月 個別受験指導	・論文、実技等の指導を個別で行う。	現代高等保健体育	3	3	3	3	

東京都立小石川中等教育学校 年間授業計画

教科：（英語）科目：（コミュニケーション英語Ⅲ） 対象：（第6学年A～D組） 単位数：（ 単位 ）

使用教科書：Revised ELEMENT English Communication Ⅲ

使用教材：

	指導内容 【年間授業計画】	科目の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
4月	ELEMENT English Communication Ⅲ Lesson 6 The Mpemba Effect	<ul style="list-style-type: none"> ムベンバが発見した現象について理解する。 発見を否定されたときにムベンバが何をしたかを理解する。 「ムベンバ効果」をめぐる議論について理解する。 子どものころに答えが見つからなかった問いについて話し合う。 	定期考査 小テスト 提出物 授業内の取組み 上記を総合して 評価を行う。	9
5月	ELEMENT English Communication Ⅲ Lesson 7 Invisible Gorilla	<題材内容> <ul style="list-style-type: none"> ゴリラ実験がどのように行われ、どのような結果が出たかについて理解する。 ゴリラ実験によってわかったことと、それが何を示しているかを理解する。 「非注意性盲目」と「注意の錯覚」がなぜ起こるかを理解する。 目立つものを見逃した経験について話し合う。 	定期考査 小テスト 提出物 授業内の取組み 上記を総合して 評価を行う。	12
6月	ELEMENT English Communication Ⅲ Lesson 8 A Small Crime	<ul style="list-style-type: none"> 主人公がしかられることになった経緯を理解する。 主人公が部屋で考えていたことを理解する。 主人公の父親が主人公に言いたかったことを理解する。 落書きは芸術か犯罪かについて自分の意見をまとめ、市長に電子メールを書く。 	定期考査 小テスト 提出物 授業内の取組み 上記を総合して 評価を行う。	12
7月	ELEMENT English Communication Ⅲ Lesson 9 Praying Hands	<ul style="list-style-type: none"> アルブレヒトとアルパートがどのような約束をしたかを理解する。 アルブレヒトに学校に行くことを勧められたアルパートが泣いた理由を理解する。 「祈りの手」を見たときに、筆者が読者に思い出してほしいことを理解する。 アルブレヒトの気持ちを想像してアルパートに手紙を書く。 	定期考査 小テスト 提出物 授業内の取組み 上記を総合して 評価を行う。	9

東京都立小石川中等教育学校 年間授業計画

教科：（英語）科目：（コミュニケーション英語Ⅲ） 対象：（第6学年A～D組） 単位数：（ 単位 ）

使用教科書：Revised ELEMENT English Communication Ⅲ

使用教材：

	指導内容 【年間授業計画】	科目の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
8 ・ 9 月	ELEMENT English Communication Ⅲ Lesson 10 All the Good Things	<ul style="list-style-type: none"> ・マークに関する筆者の思い出を理解する。 ・クラスの雰囲気が悪くなったときに筆者がしたことと、それがどのような効果をあげたかを理解する。 ・マークの葬式で筆者が知ったことを理解する。 ・教師の1人に感謝の手紙を書く。 	定期考査 小テスト 提出物 授業内の取組み 上記を総合して 評価を行う。	12
10 月	ELEMENT English Communication Ⅲ Pleasure Reading To You Who Will Live in the 21st Century	<p><題材内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・筆者は持っておらず、読者が持っているものとは何かを理解する。 ・古代、現在、未来において、変わらないものとは何かを理解する。 ・「いたわり」「他人の痛みを感じること」「優しさ」などの、互いを助け合うすばらしい美徳について理解する。 	定期考査 小テスト 提出物 授業内の取組み 上記を総合して 評価を行う。	12
11 月	大学入試長文シリーズ Front Runner 4	長文化する入試問題に対応する力を養成するため、決められた時間で英文を読み解く力を養う。ワークブックを通じて、要約力や語彙力も強化する。	定期考査 小テスト 提出物 授業内の取組み 上記を総合して 評価を行う。	12
12 月	大学入試長文シリーズ Front Runner 5	長文化する入試問題に対応する力を養成するため、決められた時間で英文を読み解く力を養う。ワークブックを通じて、要約力や語彙力も強化する。	定期考査 小テスト 提出物 授業内の取組み 上記を総合して 評価を行う。	9

東京都立小石川中等教育学校 年間授業計画

教科：（英語）科目：（コミュニケーション英語Ⅲ） 対象：（第6学年A～D組） 単位数：（ 単位 ）

使用教科書：Revised ELEMENT English Communication Ⅲ

使用教材：

	指導内容 【年間授業計画】	科目の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
1 月	過去の入試問題と直前対策	5回の共通テスト実践問題を解き、超重要事項を再点検し、直前期に改めてマーク形式に慣れ、正確な自己採点ができるように指導する。	定期考査 小テスト 提出物 授業内の取組み 上記を総合して 評価を行う。	9
2 月	過去の入試問題と直前対策	5回の共通テスト実践問題を解き、超重要事項を再点検し、直前期に改めてマーク形式に慣れ、正確な自己採点ができるように指導する。	定期考査 小テスト 提出物 授業内の取組み 上記を総合して 評価を行う。	12
3 月	過去の入試問題と直前対策	5回の共通テスト実践問題を解き、超重要事項を再点検し、直前期に改めてマーク形式に慣れ、正確な自己採点ができるように指導する。	定期考査 小テスト 提出物 授業内の取組み 上記を総合して 評価を行う。	9

東京都立小石川中等教育学校 年間授業計画

教科:(外国語)科目:(英語表現Ⅱ) 対象:(第6学年A組～D組) 単位数:(2単位)

使用教科書:

使用教材: 入試必携英作文Write to the Point、クローザー頻出英文法・語法問題

	指導内容 【年間授業計画】	科目の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
4 月	入試必携英作文Write to the Point Lesson 1, 2 主語の決定(1) (2) クローザー頻出英文法・語法問題	<ul style="list-style-type: none"> ・一般論の主語や主語の選定の際に気を付けるべきことを理解している。 ・実践問題の中で、上記の知識を活用しながら英作文を書くことができる。 ・SV分離、文頭のVing、副詞節中のS+be動詞の省略、MSVについて正しく理解している。 ・実践問題の中で、上記の知識を活用しながら英文を解釈することができる。 	定期考査 小テスト 提出物 授業内の取組み 上記を総合して評価を行う。	6
5 月	入試必携英作文Write to the Point Lesson 3, 4 目的の表現 理由の表現 クローザー頻出英文法・語法問題	<ul style="list-style-type: none"> ・「～するために」「～しないように」「～のために」「～のおかげで」を表す多様な表現を理解している。 ・実践問題の中で、上記の知識を活用しながら英作文を書くことができる。 ・並列関係、関係代名詞の省略、VO分離、MVSの倒置について正しく理解している。 ・実践問題の中で、上記の知識を活用しながら英文を解釈することができる。 	定期考査 小テスト 提出物 授業内の取組み 上記を総合して評価を行う。	8

東京都立小石川中等教育学校 年間授業計画

教科:(外国語)科目:(英語表現Ⅱ) 対象:(第6学年A組～D組) 単位数:(2単位)

使用教科書:

使用教材: 入試必携英作文Write to the Point、クローザー頻出英文法・語法問題

	指導内容 【年間授業計画】	科目の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
6 月	入試必携英作文Write to the Point Lesson 5, 6 時制(1) (2) クローザー頻出英文法・語法問題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在完了形と過去形、未来と現在の内容の区別について正しく理解している。 ・ 実践問題の中で、上記の知識を活用しながら英作文を書くことができる。 ・ 名詞節の主語、節中の節、VC分離について正しく理解している。 ・ 実践問題の中で、上記の知識を活用しながら英文を解釈することができる。 	定期考査 小テスト 提出物 授業内の取組み 上記を総合して評価を行う。	8
7 月	入試必携英作文Write to the Point Lesson 7, 8 動詞の語法 関係詞 クローザー頻出英文法・語法問題	<ul style="list-style-type: none"> ・ SVOCの文型、関係代名詞、関係副詞、関係代名詞whatについて正しく理解している。 ・ 実践問題の中で、上記の知識を活用しながら英作文を書くことができる。 ・ SV分離、文頭のto不定詞、MSVの文について正しく理解している。 ・ 実践問題の中で、上記の知識を活用しながら英文を解釈することができる。 	定期考査 小テスト 提出物 授業内の取組み 上記を総合して評価を行う。	6

東京都立小石川中等教育学校 年間授業計画

教科:(外国語)科目:(英語表現Ⅱ) 対象:(第6学年A組～D組) 単位数:(2単位)

使用教科書:

使用教材: 入試必携英作文Write to the Point、クローザー頻出英文法・語法問題

	指導内容 【年間授業計画】	科目の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
8 ・ 9 月	入試必携英作文Write to the Point Lesson 9, 10 時間の表現 数字の表現 クローザー頻出英文法・語法問題	<ul style="list-style-type: none"> ・「～ぶり」「～たてば」等の時間の表現、また「何千もの～」 「30代」「3分の1」等の数字表現について正しく理解している。 ・実践問題の中で、上記の知識を活用しながら英作文を書くことができる。 ・thatの識別、関係史whose、共通要素の省略について正しく理解している。 ・実践問題の中で、上記の知識を活用しながら英文を解釈することができる。 	定期考査 小テスト 提出物 授業内の取組み 上記を総合して評価を行う。	8
10 月	入試必携英作文Write to the Point Lesson 11, 12 仮定・条件の基本、応用 クローザー頻出英文法・語法問題	<ul style="list-style-type: none"> ・現実と仮定の内容の区別を中心に、仮定を表す様々な表現について正しく理解している。 ・実践問題の中で、上記の知識を活用しながら英作文を書くことができる。 ・連鎖関係代名詞、疑問詞の強調構文について正しく理解している。 ・実践問題の中で、上記の知識を活用しながら英文を解釈することができる。 	定期考査 小テスト 提出物 授業内の取組み 上記を総合して評価を行う。	8

東京都立小石川中等教育学校 年間授業計画

教科:(外国語)科目:(英語表現Ⅱ) 対象:(第6学年A組～D組) 単位数:(2単位)

使用教科書:

使用教材: 入試必携英作文Write to the Point、クローザー頻出英文法・語法問題

	指導内容 【年間授業計画】	科目の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
11 月	<p>入試必携英作文Write to the Point Lesson 13, 14 比較の基本、応用</p> <p>クローザー頻出英文法・語法問題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・比較する対象の表し方や、比較の応用表現について、正しく理解している。 ・実践問題の中で、上記の知識を活用しながら英作文を書くことができる。 ・thatの識別、複合関係詞、共通要素の省略、代用表現について正しく理解している。 ・実践問題の中で、上記の知識を活用しながら英文を解釈することができる。 	<p>定期考査 小テスト 提出物 授業内の取組み 上記を総合して評価を行う。</p>	8
12 月	<p>入試必携英作文Write to the Point Lesson 15, 16 譲歩の表現 重要表現</p> <p>クローザー頻出英文法・語法問題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「たとえ～でも」「どんななに～でも」等の譲歩表現や、itを用いる重要表現等について正しく理解している。 ・実践問題の中で、上記の知識を活用しながら英作文を書くことができる。 ・比較対象の省略、代用表現、仮定法、asの識別、仮定法の条件節の代用、仮定法の倒置について正しく理解している。 ・実践問題の中で、上記の知識を活用しながら英文を解釈することができる。 	<p>定期考査 小テスト 提出物 授業内の取組み 上記を総合して評価を行う。</p>	6

東京都立小石川中等教育学校 年間授業計画

教科:(外国語)科目:(英語表現Ⅱ) 対象:(第6学年A組～D組) 単位数:(2単位)

使用教科書:

使用教材: 入試必携英作文Write to the Point、クローザー頻出英文法・語法問題

	指導内容 【年間授業計画】	科目の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
1 月	・ 共通テスト演習	・ 基本的な問題を正確かつスピーディに解答できるようになる。またマーク式問題にも対応できるようになる。	定期考査 小テスト 提出物 授業内の取 組み 上記を総合 して評価を 行う。	6
2 月	・ 個別受験指導	・ 個々の志望校の過去問を中心に問題演習を行い、疑問点に関して質問をすることで理解を深める。この繰り返しにより、解答の正確性を高めていく。	定期考査 小テスト 提出物 授業内の取 組み 上記を総合 して評価を 行う。	8
3 月	・ 個別受験指導	・ 個々の志望校の過去問を中心に問題演習を行い、疑問点に関して質問をすることで理解を深める。この繰り返しにより、解答の正確性を高めていく。	定期考査 小テスト 提出物 授業内の取 組み 上記を総合 して評価を 行う。	6